

ReSTART



Take Free

ご自由にお取りください

¥0

5000円スイーツパーティー

ナニカに熱中する学生

発見! ?さがまのナンダコレ

地域を盛り上げる学生の祭典 その裏側

..... さがまちからの紹介

さがまち学生Club 活動中!

今号を制作した「さがまち学生club」とは、コンソーシアム加盟校の学生が「学生の子カラでまちを盛り上げる」をコンセプトに、まちづくり活動を企画・実施する学生主導型プロジェクトです。

今後も地域情報誌の制作やメディアを利用したPR活動、新イベントの企画立案など、地域のまちづくり活動に取り組みます。



近年の活動

- 情報誌さがまの制作
- 学生イベント「ガクマチ」への参加
- 生物多様性をアピールするためのプレゼンテーション
- 相模原選挙管理委員会 若者の選挙参加啓発のための動画制作
- 中央区の魅力を発見するためのアイデアプレゼンテーション
- ねんりんピック CM動画作成
- 学生自主地域イベント「つながりマルシェ」実施
- FMさがみオリジナルラジオ番組 企画・実施
- 子宮頸がん予防検診啓発のためのアイデアプレゼンテーション
- 広報まちだ 冊子デザイン制作
- ねんりんピック CM動画作成
- 東京新聞 SDGs企画紙面の記事制作
- 公共施設マネジメントを学ぶためのカードゲーム「こうきょうっ」作成
- 八王子コンソーシアムイベント「学生天国」参加
- まごちゃん教室 特別授業
- SDGsを自分ごとにするためのWEB企画

...など多方面にて活躍中!



..... 事業紹介

学生情報局「さがまちバンバン」放送中!



コンソーシアムの参加大学の学生が制作する地域情報番組「さがまちバンバン」。様々な視点で制作したオリジナル番組をWEBで公開しています。是非ご覧ください。

「さがまちコンソーシアム(正式名称:公益社団法人相模原・町田大学地域コンソーシアム)」は、相模原市と町田市を生活圏とする大学、NPO法人、企業、行政などさまざまな主体が連携し、それぞれの特性を活かした協働を通じて、魅力あふれる地域社会を創造することを目的に、2007年(平成19年)6月に設立され、2010年(平成22年)4月に一般社団法人になり、同年10月に公益認定をいただきました。

加盟機関 (50音順)

【大学等】青山学院大学/麻布大学/和泉短期大学/桜美林大学/北里大学/相模女子大学・相模女子大学短期大学部/サレジオ工業高等専門学校/昭和薬科大学/女子美術大学/多摩大学/玉川大学/多摩美術大学/東京家政学院大学/東京造形大学/法政大学/山野美容芸術短期大学/和光大学
【NPO法人】NPO法人さがみはら市民会議/NPO法人シーシーネット
【企業等】アイワ広告株式会社/有限会社アベレ/小田急電鉄株式会社/株式会社さらぼし銀行/株式会社さがみはら産業創造センター/株式会社JTB相模原支店/株式会社町田新産業創造センター/株式会社横浜銀行/相模原商工会議所/町田商工会議所
【法人等】一般財団法人町田市地域活動サポートオフィス/一般財団法人町田市文化・国際交流財団/公益財団法人相模原市まち・みどり公社/公益財団法人相模原市民文化財団/公益社団法人相模原市薬剤師会
【行政】相模原市/町田市
【賛助会員】株式会社F-Design/株式会社キープ・ウィルディング/富士工業株式会社/有限会社フロムサーティードリーム薬局/合同会社Sketch of Japan/公益社団法人相模原市観光協会/一般社団法人ものづくり文化振興協会/社会福祉法人相模原市社会福祉協議会/社会福祉法人みずき福祉会/COMMUNE BASE マチノワ

SagaMachi Vol.27

大学と地域の情報を大学生視点でお届けする情報誌

発行月: 2023年3月
発行所: 公益社団法人相模原・町田大学地域コンソーシアム
URL: <https://sagamachi.jp>
E-Mail: sagamachi_club@sagamachi.jp



「SagaMachi 27」へのご意見・ご感想を、以下のGoogleフォームでお寄せください。



2023年5月上旬 新メンバー募集

募集に関するお問い合わせ
Tel / 042-703-8535
Mail / sagamachi_club@sagamachi.jp

さがまち学生Club公式
Twitter, Note, Web 公開中



note



Web

予算 5000 円で相模原・町田のスイーツを

5000円
スイーツ
パーティー



これらのスイーツ、実は5,000円以内で集めたもの。今回、2020年から休刊していた情報誌Sagamachiの復刊号最初の記事ということで、復刊を祝うスイーツパーティーを企画しました。しかし、企画に使える予算は5,000円…。そこで、5,000円という限られた予算を活かすことにしました。私たちが相模原と町田でそれぞれ5店舗を厳選し、①設定金額:2,500円、②路線:JR横浜線(相模原)／小田急線(町田)、③集合時間:15時半という三つのルールに従い、スイーツを集めてみました。その結果、少しオーバーしてしまいましたが、5,104円でパーティーの主演であるスイーツを16個集めることに成功しました。このように、相模原と町田は約5,000円で様々な種類のスイーツを集めることができる魅力的な地域です。是非、皆さんも5,000円以内で相模原と町田のスイーツを集めて、パーティー開催に挑戦してみませんか？

集めてパーティーをしよう！



118円オーバーしちゃった！

おつ おすすめスイーツ

TOTAL
2,618円






 矢部駅/徒歩5分	焼き芋専門店 イモンチ 例年に比べ不作だとお伺いしたのにとっても甘い。今回購入した宮崎スイートはオリジナル品種らしい。リーズナブル。	1 宮崎スイート(大)	500円
 相原駅/徒歩10分	YUCUL オープン前から行列ができるお店。購入後に扉をあけてお見送りしてくれる店主さん。	2 バタースコンプレーン	240円
 相模原駅/バス約10分	YAMEII CREPES 店主さんが気さくに話しかけてくれるのでクレープの待ち時間も楽しい。店内のネオンサインと撮ると映え。	3 キューブマフィン 黒みつ黒まめ	380円
 淵野辺駅/徒歩8分	オランチ ベーカリー 赤いドアがおしゃれなパン屋。デニッシュが美味しくて可愛くて大人気。	4 いちごホイップ 今回特別サービスでチョコレートをトッピングしていただきました。	630円
 矢部駅/徒歩16分	ひかり菓子店 住宅街の中にひっそりある平屋の焼き菓子店。エモい雰囲気であちやくちやおしゃれ。	5 フランボワーズショコラ	278円
		6 フランボワーズのケーキ	340円
		7 くまさんのケーキ	250円



JR横浜線を使っちゃった！

ねこ おすすめスイーツ

TOTAL
2,486円

 玉川学園前駅/徒歩1分	Pecora 店主の嶋田さんの趣味が高じてオープンしたシフォンケーキ店。羊のようにフワフワした生地。シフォンケーキとホイップクリームの組み合わせは絶品。	1 アップルシナモンホイップクリーム	480円
 成瀬駅/徒歩10分	つばめパン 店主の執行さんのコレクションが飾られているレトロな雰囲気のパン屋。ざっとあなたもレジ横のシールを全種類集めたいくなる。	2 アップルパイ	270円
 町田駅/バス10分	こがさかバイク高ヶ坂本店 成瀬街道にあるおしゃれな外観が特徴的な焼き菓子専門店。店内は焼き菓子のいい香りがする。パウンドケーキが有名。	3 キナココッペ	190円
 玉川学園前駅/徒歩3分	グランガトー お菓子教室と喫茶店が併設され、作りたての美味しさを大切にしている洋菓子店。店主の合田さんの食材へのこだわりが口コミで広がり、来訪するお客さんが多く、リピーター率が高い。	4 プーさんのおやつ	170円
 町田駅/徒歩5分	菓舗 中野屋 手頃な値段と添加物の少なさから若者のお客さんも多い和菓子店。この店の一升餅を背負った子どもが、大人になって和菓子を買いくるという素敵なエピソードも。	5 KOGASAKAナッツ	450円
		6 シュヴァルツベルダーキルシュトルテ 19周年記念のため通常600円のところが19%OFFにて購入	486円
		7 だらやき	180円
		8 豆大福	130円
		9 草餅	130円

さがまちの 発見!? ナンダコレ

地下駐輪場の天井に大量のハンガー?公園に巨人の足跡?
その謎、私が調査してきました!感動あり、ワクワクありの結果が、
きょと読み終えた後、あなたをまちより歩きたくなまじょう。
さがまちミステリーの世界へようこそ



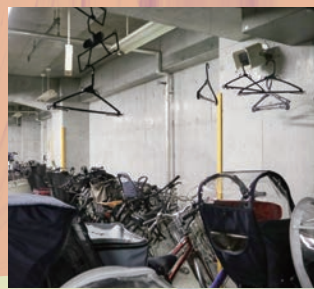
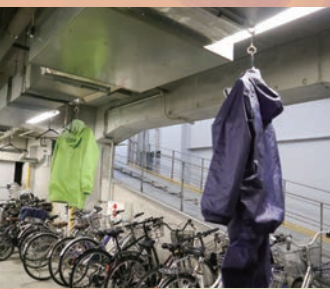
日本一やさしい駐輪場! 大量ハンガーの謎を徹底説明!

小田急町田駅北口にある地下駐輪場。その天井にはなんと大量のハンガーが!なんじゃこりゃ!?昔、町田駅前には違法駐輪が多く、市長から地下に駐輪場を作って欲しいと言われたのがきっかけで、小田急町田駅前の大規模駐輪場“第一号”が誕生。すると違法駐輪もすっかり無くなったそう!気になるこの大量の“ハンガー”は・・・なんとカッパを乾かすためのものらしい!カッパがくしゃくしゃにカゴに入れられているのを見た管理人さんが、綺麗に乾かすためにハンガーを設置!

ハンガーにかけて扇風機で乾かし、畳んでカゴに入れてくれる。すごい!ホスピタリティに感動。そしてなんと、利用者の顔と自転車が一致しており、利用者が帰ってきたら出口まで運んでくれる!こんなに人の温もりを感じられる駐輪場、他にあるでしょうか?これほどご縁を大切にしている駐輪場を私は見たことがありません!日本一温かさを感じる駐輪場をぜひ利用してください。

Accsee

JR町田駅北口から徒歩5分。小田急町田駅北口から徒歩1分。
小田急町田駅北口グランドウォールビル(東京都町田市森野1丁目-39-1)の地下にあります!



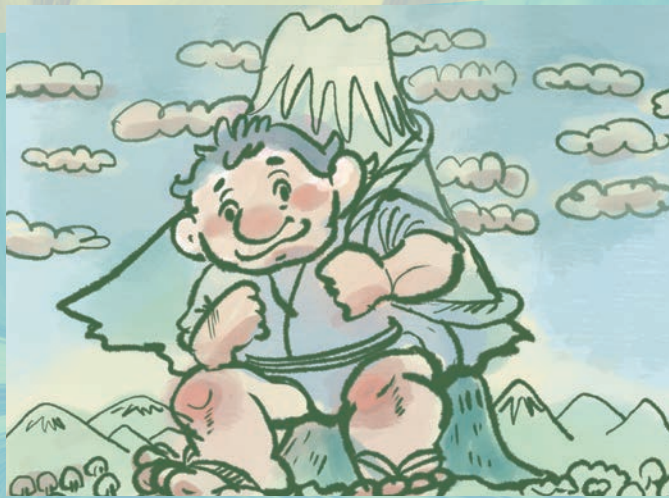
相模原市に巨人の足跡! 足跡の謎を大捜査!

多くの人に愛されている鹿沼公園。その中心にあるのが鯉と白鳥が泳ぐ大きな池。みなさん知っていますか?何とこの池、上から見ると大きな足跡に見えるそうなんです。そんな噂を聞き、早速調査に行ってきました!上から見たら本当に足跡だ!何じゃこりゃ!?昔々、“でいらぼっち”という大男が富士山を背負い歩いてきたそう。相模原市まで来た時、歩き疲れ富士山を下ろし、大山に腰を掛けて一休み。すると富士山に根が張ってしまい動かなくなってしまった!怒った巨人は地団駄を踏み大暴れ。その時にできたと言われる巨人の左足が、今も残る噂の足跡、鹿沼公園の“鹿沼”なんです!

そしてもう一つ。今は祠しか残ってないですが、青山学院大学相模原キャンパスの敷地内にかつて右足“菖蒲沼”がありました。果たして本当に“でいらぼっち”は存在したのでしょうか?これは本当に足跡なのでしょうか?信じるか信じないかはあなた次第!是非足跡を運んで確認してみてください!

Accsee

JR淵野辺駅南口から徒歩5分。
鹿沼公園(相模原市中央区鹿沼台2丁目15-1)
足跡のようなかたちが目印!



Instagram



Web

Check it

▼2年前というところからちょうどコロナ禍でしたが、なぜこの活動を始めたのかと思ったのですか?
元々相模原市内でボランティア活動をしていましたが、その活動がコロナの影響で中止になることが多くて、仕方ないのとは分かっていくけど、こういう状況でもボランティア活動が必要としてくれてる人がいるのに答えられないもどかしさを感じていました。当時、アナウンサーを目指していて、話すことや言葉に親しみがあつたことと、人を楽しませることが好き



いま大学生は何に熱中しているのか!ここでは、紙芝居パフォーマンスチーム「ぱらぱりぱー」の活動に熱中している田島颯さんにお話を聞きました。田島さんは、2年前から、タイヨー印刷株式会社協賛のもと6人の大学・専門学校で、オリジナルの紙芝居に音楽や演劇をつけた、観客参加型の「紙芝居パフォーマンス」を、相模原市を中心に子供から大人まで幅広い年代に届けています。

▼それは、次に「学生」というキーワードでお話を伺いますが、学校生活やぱらぱりぱーでの活動を通して、どんなところに「学生のパワー」を感じますか?
少しネガティブな話になってしまいかもしれませんが、良くも悪くも学生ブランドがあると違うんです。学生だから、挑戦的なことをやっても許されて、学生だから、大人が手を貸してくれるんですよね。会社に入って何かをするなら、こう

▼相模原町田には多くの学生団体がありますが、その中でもぱらぱりぱーの強みはどのような点ですか?
昨年、ガクマチROXPOに参加して、たくさんの方と交流する中で、魅力的に感じたので難しいですけど、三点あるかなと思います。
一点目がオンライン・オフラインのどちらでも活動できることです。二点目は全年齢が対象になることで、元々は子供を対象に活動していましたが、依頼を受ける度にその対象者に向けてパフォーマンスを作り直しています。オリジナルで作っている紙芝居が三

女性格から、見たことのない紙芝居で多くの人をワクワクさせたという感じで、始めました。
最近では月に1回くらいペースで対面、またはオンラインでパフォーマンスをしています。
▼ぱらぱりぱーでの活動に熱中した田島さんが得たものはなんですか?
本当に多くのものを得たと思っています。特に大きいものは三つで、一つ目は人の温かさです。特に立ち上げた当初は一人で突拍子もないアイデアから始めて、仲間も受け入れてくれる施設も協賛企業もないという状況でした。ですが今では仲間もいて、お声をかけてもらえて、協賛企業さんにも応援してもらってというところで、こうした多くの人が密に絡み合っている団体だと思っています。
二つ目は一歩踏み出すことの大切さです。先ほど言ったように、立ち上げようと思った当初は「出来ない」とか周囲から批判的な声が多かったんですけど、やってみないと思っていたことが不可能かどうかは

▼今後の活動について教えてください。
僕を含めて6人のメンバーの内、4人が3月で大学を卒業するため、現在のペースでパフォーマンスを続けることが難しくなっています。それでも、自分たちを求めてくれる声に応えたいと思い、活動と作品を配信版に切り替えようと思っています。動画配信サービスに動画を投稿し、それぞれの場所や施設で見ってもらうことで半永久的にぱらぱりぱーのパフォーマンスを楽しんでもらえると考えています。僕自身は、これまでぱらぱりぱーを引っ張ってきた立場でしたが、これからは支えていく立場として関わっていければと思っています。
この情報誌を読み興味を持っていただけたら、ぜひぱらぱりぱーのパフォーマンスもご覧いただきたいです!

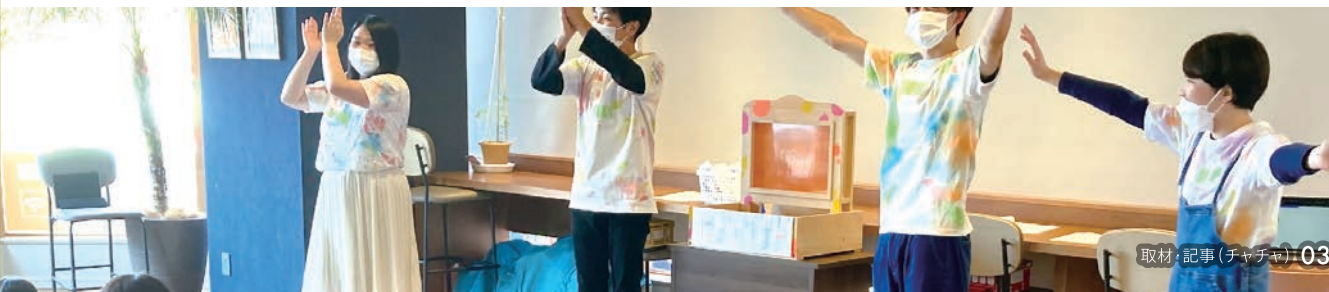
はならないのかなと思います。
▼ぱらぱりぱーの活動に熱中した田島さんが得たものはなんですか?
本当に多くのものを得たと思っています。特に大きいものは三つで、一つ目は人の温かさです。特に立ち上げた当初は一人で突拍子もないアイデアから始めて、仲間も受け入れてくれる施設も協賛企業もないという状況でした。ですが今では仲間もいて、お声をかけてもらえて、協賛企業さんにも応援してもらってというところで、こうした多くの人が密に絡み合っている団体だと思っています。
二つ目は一歩踏み出すことの大切さです。先ほど言ったように、立ち上げようと思った当初は「出来ない」とか周囲から批判的な声が多かったんですけど、やってみないと思っていたことが不可能かどうかは



▼今後の活動について教えてください。
僕を含めて6人のメンバーの内、4人が3月で大学を卒業するため、現在のペースでパフォーマンスを続けることが難しくなっています。それでも、自分たちを求めてくれる声に応えたいと思い、活動と作品を配信版に切り替えようと思っています。動画配信サービスに動画を投稿し、それぞれの場所や施設で見ってもらうことで半永久的にぱらぱりぱーのパフォーマンスを楽しんでもらえると考えています。僕自身は、これまでぱらぱりぱーを引っ張ってきた立場でしたが、これからは支えていく立場として関わっていければと思っています。
この情報誌を読み興味を持っていただけたら、ぜひぱらぱりぱーのパフォーマンスもご覧いただきたいです!

▼今後の活動について教えてください。
僕を含めて6人のメンバーの内、4人が3月で大学を卒業するため、現在のペースでパフォーマンスを続けることが難しくなっています。それでも、自分たちを求めてくれる声に応えたいと思い、活動と作品を配信版に切り替えようと思っています。動画配信サービスに動画を投稿し、それぞれの場所や施設で見ってもらうことで半永久的にぱらぱりぱーのパフォーマンスを楽しんでもらえると考えています。僕自身は、これまでぱらぱりぱーを引っ張ってきた立場でしたが、これからは支えていく立場として関わっていければと思っています。
この情報誌を読み興味を持っていただけたら、ぜひぱらぱりぱーのパフォーマンスもご覧いただきたいです!

やってみないと分からないと思っただけです。不可能なことではないというか。
最後はやはりお客さんの笑顔です。1回のパフォーマンスをするまでには約1か月、みんなで話し合っ意見を出し合っ作るという時間があるんです。そうした1回のパフォーマンスに時間をかけたオリジナルの作品がお客さんの反応に繋がる時が感動すると思いますか。「また来てね」と言ってもらえると嬉しいですね。





テント局

さがまち学生Clubとして出展するテントブースの企画を担当。オリジナル謎解きブース・しおり作成&読み聞かせを行う町田市移動図書館とのコラボブースの2つを出展。謎解きブースは謎解きの内容に他団体を巻き込んだ謎を入れて、つながりマルシェ全体を楽しんでもらえる企画を考案。移動図書館コラボブースは今回のために読み聞かせの講習にも参加し、来場者を楽しんでもらえる絵本について勉強しました。

謎解きはなかなか難しいレベルだったはるだが、参加者に楽しかったと言ってもらえた

いまちゃん

子供が楽しく参加してくれる姿に癒された

こま

マーケティング局

Twitter・Instagramで広報を担当。SNSで参加団体を紹介するプロフィール画像やカウントダウン企画の投稿を行い、イベントの認知度UPに取り組みました。当日は、つながりマルシェの様子を届けたい、と参加団体同士の対談企画を会場内の色々な場所で実施、その様子をリアルタイムでYouTube配信しました。

ターゲット層においた学生に見てもらえる投稿を考えるのが大変だった

おつ

いいねなど反応をもらえることにやりがいを感じた

いのしん

つながりマルシェの
詳細は『note』で



中央局

各局の進行把握や参加団体との連絡や会議進行などの運営を担当。また、周辺地域への説明会実施や行政との連絡も中央局が担当し、つながりマルシェの中心としてプロジェクトを進めました。また、お金の発生しない古本市として、本とメッセージカードを交換する「つながる本市」の企画を担当。

各局や参加団体との連携・進行把握に苦労した!

あず

会議で意見は出せても最終的な決定を出すのが難しかった

ろき

参加団体と毎週行った会議ではみんなで1つのイベントを作っていることを実感してワクワクした

ちゃちゃ

ビジュアル局

チラシ・ポスター・パンフレットの広告物やオリジナルTシャツのデザイン、会場レイアウト・装飾を担当。直前までこだわってデザインを仕上げたチラシ・ポスターは町田市の公共施設に掲示されました。今回つながりマルシェのテーマカラーに、学生のフレッシュさを感じるイエローを選定し、イベントを明るく彩ってくれました。

会場全体の把握に苦労してレイアウトやパンフレットに載せる会場MAPの内容確定に時間がかかった

さや

自分の実力と技術を伸ばさずっかりになった

なば



さがまち学生クラブでイベントを行いたい!と声を上げたのは、21年春、さがまちに所属して2期目を迎えたためいよいよ。コロナ禍で学生団体の活動が制限され、やりたいことができなくなっていました。だからこそ、自分たちで活動の場を作っていかようと思った。活動に取り組む学生の姿をイベントを通して街の人々に伝えることで、「自分も何かにチャレンジしてみよう」と次のアクションにつなげるきっかけにしたかった。」と開催の理由を話しました。

22年春には、コロナ禍でも活動を続けてきた学生団体との交流イベントを実施。さらに、めいめい自身が町田市役所にプレゼンを行い、「つながりマルシェ」開催に向けたプロジェクトがスタート!さがまち学生クラブのメンバーは、中央局・テント局・ビジュアル局・マーケティング局の4局に分かれて活動。一から行うイベント作り、局間の連携やスケジュール進行に苦戦しながら、定例の活動日以外でもメンバー同士集まって準備を進めました。

つながりマルシェ当日は、テント設置のため早朝6時に集合しまし

た。参加者からは、設営を通して会議でしか交流のなかった他の団体ともコミュニケーションがとれ、仲良くなれたという声が上がりました。つながりマルシェは、参加団体によるテントブースの出展、本の交換会をイメージした「つながる本市」、キッチンカーや移動図書館の参加、配信企画などを行い、近隣に住む人々が来場し、賑わいをみせました。

今回のつながりマルシェの成果についてめいめいは、「イベントを通して、参加団体がお互いのテントを歩き来できる仲間になってほしい」と思っていたが、開催後、団体同士でコラボする話があがったり、一緒に出かけるようなこともあり、つながりを作る良いきっかけにすることができた。また、次回開催について「さがまち学生クラブでイベントができるという土台作りをした、そのために第2回も開催したいと思っている。今回は来場者の方にみんなの活動がより伝わるように工夫していきたい。」と意欲を語りました。第2回つながりマルシェの開催、ぜひお楽しみに!

地域を盛り上げる学生の祭典 その裏側

2022年10月、さがまち学生Clubは初めての主催イベント「つながりマルシェ」を開催しました!町田市の芹ヶ谷公園で、周辺地域で活動する6つの学生団体と共にイベントを盛り上げました。さがまち学生Clubは主催者として、6月からプロジェクトをスタート!4つの局に分かれてイベント作りに取り組みました。今回は、つながりマルシェ開催に至った経緯や、さがまち学生Clubのメンバーがつながりマルシェに向けて行なった活動を紹介します。



さがまち学生クラブ 初の主催イベント!